

「29th ミーティングに関する報告書」(2002.11.2)

” 明るい！ 不良債権”

概要

不良債権という言葉は氾濫していますが、それはいったいどういうものを指すのでしょうか。

そして、不良債権の売買（処理）が行われていますが、それは、どういった流れで、どういった会社が行い、またどういったところから利益を上げているのでしょうか。

・・・という感じでした。

これにつき、17名（および、「アントレ」取材2名）のご参加により、ディスカッションが行われました。

さてさて、ミーティングですが・・・

まず、参加者全員による恒例の「近況報告」・・・

- ドラッカー的未來社会を読む（川井健男著。宝島社新書）の紹介。
- 地域の葬儀ビジネスに競争戦略論えお活用。
- 組織改革コンサル。35歳FA制。
- ネット詐欺顛末。
- 税理士報酬デフレと、質の低下。  
    デッド・エクイティ・スワップの評価変更。
- 資格予備校のリベンジ講座。
- 東京は、本気でやってる人多い。
- 保険の商品力。顧客満足。
- HPサイト制作、美容院なども増える。くじ付きクーポン。
- 士業、実体面への干渉。書類作成からケア・サービス分野へ。
- 配線業務のニッチ。
- 資金繰り。銀行とケンカをしないこと。  
    地方の土産物苦戦。新規性がないから。
- IT系の一部上場企業の非効率業務の多さ。

・・・などなど。

さて・・・

” 明るい！ 不良債権 ” の古村さん（金融コンサルタント会社）の発言となりまして・・・

大筋としては、

1. 不良債権とは
  2. 不良債権を取り巻くビジネス
  3. 不良債権の処理方法
- ・・・でした。

1. 不良債権とは

1) 定義

一言で言うところ「金利や元本の支払いが滞っている債権」。

健全な経済状況でも、とうぜん必ず存在する。

現状は、あまりに多すぎる。

過去の貸し過ぎが一因。

また、不動産の担保価値のみを評価しての貸し出しも一因。

ただし、正確には以下の3つの定義に分けられる。

① リスク管理債権

・・・法律上の不良債権。

② 金融機関の自己査定に基づく不良債権

・・・金融機関の自主的な。

③ 金融再生法関連債権

・・・間接金融（融資；借金）から、直接金融（出資；株式）への移行が進まない。

・・・銀行の経営が、前時代的なものとなっており、収益構造・査定方式の改革が進んでいない。

・・・たとえば、事業そのものを査定する仕組み未熟であり、仮に、その事業に投資をできるとしても、銀行員は、もし失敗したときの責任を恐れる（出世に響く）。

・・・なお、貸し渋りについては、企業そのものが融資に見合わない経営をしているところも多いとのこと。

2) 実際のボリューム

・過去10年間、全国銀行で約90兆円の不良債権を処理

・金融庁発表の2002年3月末の不良債権残高は大手銀行で27兆円

・2002年3月期は大手銀行だけで不良債権9兆9千億円が新規発生

3) 問題点

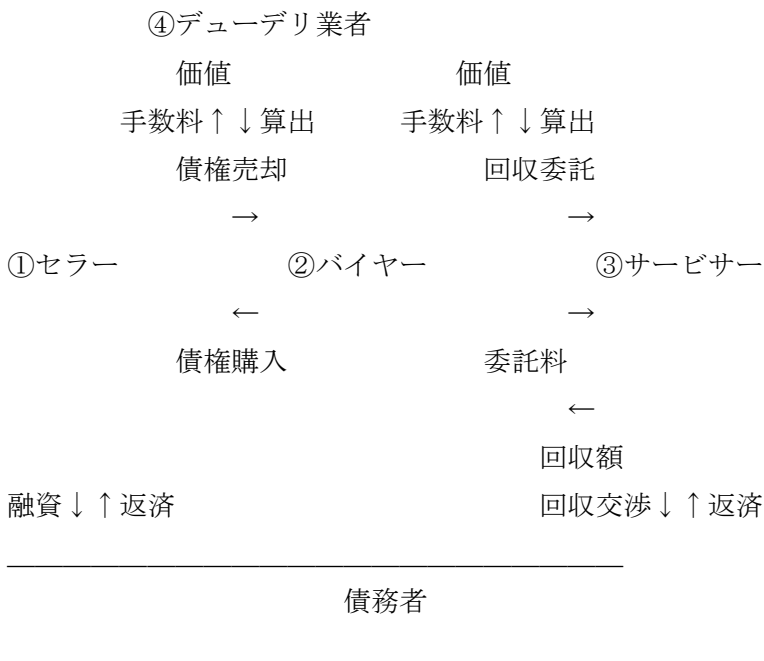
景気減退→不良債権増大→銀行の自己資本比率低下→銀行の貸出圧縮  
 →世の中に資金が流れない→景気減退→不良債権増大.....

日本経済はこの悪循環から抜け出せないでいる。

・・・直接償却（バランスシートから切り離す）でなく、間接償却（引当金を積む）が問題を先送りに。

2. 不良債権を取り巻くビジネス

誰が、どこで、どの様にして不良債権の売買を進めているのか！？



※関係者

① セラー：不良債権を売る企業

邦銀、生命保険会社、リース会社、商社等

- ・・・入札により売却されることもあり、相対取引でなされることもある。
- ・・・バルクセールといって、多数の不良債権をまとめて売却することも多し。

② バイヤー：不良債権を買う企業

外資系投資銀行・証券会社、ブティックインベスター（個人か数人にて）等

③ サービサー：不良債権の管理・回収を行う企業

日系・外資系の銀行系・不動産系・消費者金融系会社がそれぞれ出資して設立。

現在 67 社あり。

本来、債権回収は、弁護士の独占業務だが法律により特別に認められている。

ただし、役員に、弁護士が就任しなくてはならない。

・・・バイヤーとサービサーが分かれているのは、サービサーが、設立に法律上の要件の充足が必要となる会社のため。

④ デューデリ業者：不良債権の価値を算出する企業

金融コンサルタント会社、不動産評価会社等

（但し、バイヤーが独自で行うケースもあり）

\* デューデリジェンス：「当然、しっかりと行うべきこと」という意味。

実際は「買主あるいは投資家が物を購入したり、投資する場合、その物や投資対象のリスクを把握するために当然行わなければならない調査」のこと。

・・・不良債権の価値の算出は、過去の統計からなされていたが、現在は、キャッシュフローから、時価を割り出すようなものも。

●不良債権売買の流れ（簡略）

たとえば、企業が債務者として、銀行を債権者とする。

その債権額が 10 億円として、この返済が滞ったとする。

この場合に、銀行が、この債権を、（1 銭にもならないよりはマシと）2 億円で、バイヤーに売却。

バイヤーは、この債権を、3 億円にて回収するように、サービサーに依頼。

サービサーの回収が成功すれば、バイヤーは 1 億円を儲けることができる。

この儲けから、デューデリやサービサーに手数料を。

・・・このため、企業から、銀行へ、不良債権の売買を要請することも。

・・・ただし、現在。

不良債権の売買は、減ってきている（政府の不良債権処理云々で様子見か）

3. 不良債権の処理方法

1) 法的処理

会社更生法・民事再生法等

2) 私的処理

債権放棄・デットエクイティスワップ等

・・・債権放棄は、銀行内部で、上記の不良債権売買と同じような流れとなる。

3) 債権譲渡(売却)

外資系ファンド等への売却

\* 証券化

: 不良債権を一まとめにして証券化し、機関投資家へ売却

といったあたりで、時間切れでした。

・・・不良債権のおおまかな流れと、問題点を抽出できたのではないのでしょうか？

さて・・・

以下の点については、SENRYAKU-MLでのネットディスカッションのテーマとします。

4. 不良債権問題の今後

こうすれば不良債権問題は解決する!?

1) 査定の厳格化

2) 税効果会計の見直し

3) RCC の活用

4) 産業再生機構の活用

5) 企業再生ファンドの育成

終わりに、発言者・古村さんからのまとめとして、『デフレ経済からの脱却』が、不良債権問題の根本的な解決のポイントになるのではないかと。